

## ミャンマー・ティラワ LNG To Power プロジェクトの独占開発権取得について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、住友商事株式会社（以下、「住友商事」）、三井物産株式会社（以下、「三井物産」）および Eden Group Co., Ltd 社（以下、「Eden Group」）と共同で、ミャンマー・ヤンゴン管区ティラワ地区におけるティラワ LNG To Power（以下、「本プロジェクト」）の独占開発権を付与する通知書（Notice To Proceed、以下、「NTP」）をミャンマー電力エネルギー省（Ministry of Electricity and Energy、以下、「MOEE」）より受領しました。

本プロジェクトは、ミャンマーで最大規模となる 1,250MW のガス焼き火力発電所および陸上 LNG 貯蔵・再ガス化設備を建設・保有・運転し、長期売電契約に基づき商業運転開始後 25 年間に亘り MOEE 傘下の国営電力発電公社（Electric Power Generation Enterprise、以下、「EPGE」）に対して売電事業を行うもので、燃料となる LNG の調達、輸送および貯蔵・再ガス化も事業範囲に含まれる見込みです。NTP に基づき、丸紅は、住友商事、三井物産および Eden Group とともに詳細な案件実現可能性調査を実施します。

ミャンマーでは、急速な経済成長に伴い逼迫する電力需給に対して、IPP（\*）事業における海外企業の貢献に高い期待が寄せられています。特に、本プロジェクトの事業開発が推進されるヤンゴン・ティラワ地区には、丸紅が出資する事業会社が工業団地を開発・運営するティラワ経済特別区があり、ミャンマー国内屈指の電力需要地となっています。丸紅は、ミャンマーにおける電力の安定供給を通じてミャンマーの更なる経済成長に貢献すべく、本プロジェクトの開発を進めていきます。

丸紅は、日本国内を含む世界 19 カ国において持分容量 12GW を超える発電資産を保有・運営しており、これまで蓄積してきた発電事業の実績・経験を活かし、電力の安定供給に貢献していきます。また、丸紅の持つ幅広いビジネス知見、ネットワークを最大限に活用し、本プロジェクトのような LNG 調達、輸送、貯蔵、再ガス化およびそのガスを用いた発電までを一貫して行う LNG To Power 事業にも注力していきます。

(\*) IPP : Independent Power Producer（独立系発電事業者）

以上

### <ミャンマー・ティラワ LNG To Power プロジェクト概要>

所在地：	ミャンマー・ヤンゴン管区ティラワ地区
発電設備容量：	1,250MW
売電先：	EPGE
売電期間：	25 年間

## <関係各社概要>

### ● 住友商事株式会社

設立 : 1919 年

代表者 : 兵頭誠之 代表取締役社長

所在地 : 日本、東京

業種 : 総合商社

### ● 三井物産株式会社

設立 : 1947 年

代表者 : 安永竜夫 代表取締役社長

所在地 : 日本、東京

業種 : 総合商社

### ● Eden Group Co., Ltd. (エデン・グループ)

設立 : 1990 年

代表者 : Chit Khine (Chairman)

所在地 : ミャンマー、ヤンゴン管区

業種 : 地場複合財閥

## <案件所在地>

